

令和2年8月教育委員会定例会 会議録

令和2年（2020）8月25日（火）午後1時30分、出雲市教育委員会定例会をくにびき大ホールに招集した。

1 会議に出席した委員

教 育 長	杉 谷 学
教育委員（教育長職務代理）	水 陽 子
教 育 委 員	錦 田 剛 志
教 育 委 員	金 築 千 晴
教 育 委 員	内 藤 祐 馬

2 説明のため会議に出席した者

教 育 部 長	三 島 武 司
教 育 部 次 長	松 浦 和 之
学 校 教 育 課 長	金 築 健 志
児 童 生 徒 支 援 課 長	兒 玉 浩 二
教 育 施 設 課 長	園 山 裕 二
学 校 給 食 課 長	石 橋 健 治
出 雲 科 学 館 長	矢 田 浩 一
保 育 幼 稚 園 課 長	鬼 村 修 治
学 校 教 育 課 主 査	山 本 芳 正
教 育 政 策 課 課 長 補 佐	常 松 晃 好
学 校 教 育 課 課 長 補 佐	岩 崎 慎 一
児 童 生 徒 支 援 課 課 長 補 佐	吾 郷 尚 志

3 会議の書記

教 育 政 策 課 課 長 補 佐	常 松 晃 好
-------------------	---------

4 傍聴者

0名

開会

(杉谷教育長) 只今から、令和2年8月出雲市教育委員会定例会を開会します。最初に、教育政策課から発言を求めていますので、これを許可いたします。

(常松課長補佐) 本日の議事において、「議第29号 令和3年度から令和6年度 中学校において使用する教科用図書の採択結果について」をご審議いただく予定としていますが、出雲採択地区教科用図書採択協議会において、情報公開の期日は令和2年9月1日と決定されています。したがって、この件については、非公開でご審議をお願いしたいと考えます。なお、本定例会の議事録の公開は9月1日以降となりますので、議事録は公開いたします。出雲市教育委員会会議規則第17条第1項により、「教育長又は委員の発議により、出席委員の3分の2以上の多数で議決したときは、これを公開しないことができる」、との規定により、議決をいただきたいと思います。

(杉谷教育長) それでは、今説明がありましたように、「議第29号 令和3年度から令和6年度 中学校において使用する教科用図書の採択結果について」は、非公開とすべきと考えます。お諮りをします。この案件について、非公開としてよろしいですか。挙手にて意志を表示してください。

(全教育委員 挙手)

(杉谷教育長) 委員全員の賛成がありましたので、議第29号については、非公開とします。なお、審議は日程の最後に行い、そのほかは、順次審議してまいります。

1 教育長行政報告

(杉谷教育長) それでは、教育長行政報告を行います。(以下、報告項目のみ掲載)

(1) 前回以降の動向

R2.7.29	第1回出雲市教育政策審議会
R2.7.30	出雲市議会(臨時会)・全員協議会
R2.7.31	新斐川給食センター竣工式
R2.7.31	県知事・教育長要望
R2.8.3	市長と校長との懇談会
R2.8.7	第2回出雲市教育政策審議会
R2.8.18	出雲農林高等学校コンソーシアム会議
R2.8.18	第3回出雲市教育政策審議会
R2.8.21	校長の会議

R2.8.23	第 53 回出雲市同和教育講演会（出雲市民会館）
R2.8.25	定例教育委員の会議

(2) 今後の予定

R2.8.31	市議会 9 月定例会開会、全員協議会
R2.9. 1	出雲市防災訓練
R2.9. 3	市議会一般質問（～8 日）
R2.9.10	市議会 文教厚生常任委員会・予算特別委員会文教厚生分科会
R2.9.15	市議会 決算特別委員会（1 日目）
R2.9.16	市議会 決算特別委員会（2 日目）
R2.9.23	定例教育委員の会議、第 1 回総合教育会議

(杉谷教育長) 只今の報告で、質問等がありますか。

(錦田委員) 7 月 2 9 日、8 月 7 日、8 月 1 8 日と、比較的短いスパンで「出雲市教育政策審議会」が開催されておりますけれども、短い期間に多くの審議をされることには、何か理由があるのでしょうか。

(杉谷教育長) 今年は本当に短い期間でやっていますが、概ねこの時期に集中してやらせていただいています。

(錦田委員) 特段、これまでと審議内容が変わったというわけではないということですね。

(杉谷教育長) はい。

(錦田委員) わかりました。

(杉谷教育長) ほかに、いかがでしょうか。

(各教育委員) ありません。

2 会議録の承認

(杉谷教育長) 次に、会議録の承認に入ります。前回 7 月定例会の会議録について、何か意見等がありますでしょうか。

(各教育委員) ありません。

(杉谷教育長) 特に意見等ありませんので、7月定例会の会議録については、承認します。

3 議事

(杉谷教育長) それでは、議事にはいります。最初に「議第30号 出雲市立学校における地域学校運営理事会理事の辞任及び任命について」を、教育政策課 常松課長補佐 に説明願います。

(常松課長補佐) 資料に基づき説明

(杉谷教育長) 只今の、議第30号について、何か質疑等はありませんか。

(各教育委員) ありません。

(杉谷教育長) 特に質疑等がないようですので、議第30号について、承認してよろしいですか。

(各教育委員) 異議なし。

(杉谷教育長) ご異議ありませんので、議第30号を承認します。

4 報告

(杉谷教育長) 次に、報告事項に入ります。報告(1)「令和2年度 市学力・学習状況調査に係る結果について」を、学校教育課 金築課長 に説明願います。

(金築課長) 資料に基づき説明

(杉谷教育長) 只今の報告(1)について、何か質問等はありませんか。

(内藤委員) 「学習状況調査」の結果と、「正答率」との関係性を分析すると、効果のあるものができるのではないかと思います。朝早く起きること、授業を理解していること、学習時間の状況等、そういったものが点数にどう跳ね返っているのか、なんら

か測定できれば、判断材料のひとつになるのではないかと思いますので、今後のお願いということで、発言させていただきました。

(金築課長) ご意見ありがとうございます。今、各学校が、授業改善の取組として結果の分析をしているところですが、今おっしゃったようなクロス集計も実際やっております、各学校からの報告書にそういったことも出てくると思いますので、よろしくお願いします。

(金築委員) 学習状況調査結果の「(2)挑戦心、達成感、自己有用感等」の項目になりますが、どうしても「自分のことが好きである」といった項目の数字が低いという気がします。先般の学校訪問でも、学校の「めあて」や校長先生のお話の中で、自己肯定感を高める、自己有用感を高める、ということが出てくるのですが、なかなかそれが反映しにくいのかなと思って見ていまして、やはり、自分を肯定するということは、他人を肯定するということで、イジメなどにつながりにくくなると思いますし、自分を認められないと他人を認める気持ちも育たないので、勉強も確かに大事なことなんですけど、自分を肯定するところをもうちょっと掘り下げるといふか、皆さんで議論してもらいたいかなっていつも思います。

(杉谷教育長) 一つの取組としては、児童生徒支援課の「だんだんプロジェクト」などに結びつくんじゃないかと思いますが、その辺の考え方とかどうですか。

(兒玉課長) 昨年度からの事業で、委員さん方にも実践をしていただいた「だんだんプロジェクト」でございますが、今年度、拡充、拡大をして各小学校でやっていただいております。やはり、コミュニケーションをとる中で、お互いを認め合うということ、それから、自分を出せるというようなこと、ここが大事な一歩じゃないかなというふうに考えております。現在、市内約3,000人に実践していただいております、これをどんどん来年度に向けて拡大して行って、全市展開を担っているところなんですけど、やはり、そういった「人との関わり」の中で、いろんなところを高めていかなければいけない、そういうものが不登校であったり、イジメであったり、そういったところの未然防止にも繋がっていく、というふうに思っています。

(杉谷教育長) あと、アンケート QU では、個別の児童生徒の学級の中での位置といひますか、心理的な位置というものがわかるというのもありますし、この調査と他のものと組み合わせながら、一人一人を見ていく、あるいは、学校全体で何に取り組んでいくかというものを探っていく、ということが必要かなというふうに思います。これをやったから必ずこうなっていくというものではないと思うので、総合的にやって

いく必要があるのかなというところがありますけど、やはり、このところの数値が毎年のことながら低い、というのは確かですね。

（金築委員） 昨年、学校訪問で、ある校長先生に、この学校ではどういうふうに自己肯定感や自己有用感を高めるような指導をされますか、とお伺いしたら、ボランティアに参加させているという回答でした。一方で、この調査結果では、「地域の行事に参加している」という項目の数字が少なく、この項目はボランティアに当てはまっていないかもしれませんが、先程のコミュニケーション能力にしても、いろんな方と触れ合うということでコミュニケーション能力も高まるので、地域の行事に参加してもらうようなことも大事かなという気はします。

（水委員） 「書くことが苦手」という結果ということですが、小学校から「書く」訓練をどのぐらい現場でされているのでしょうか。夏休みの宿題の作文に対して抵抗感を持つ子どもさんも多いのではと思いますが、中学生になりますと、「人権」ですとか、「社会を明るくする運動」など難しいテーマを出されます。では、そういう内容の授業があるのかどうか、私はいつも疑問です。「書くこと」はもちろん「聞くこと」も、やはり子供たちが小さいときから訓練が必要で、何歳になったからできるというようなことではないと思っています。これからの世の中に必要な力のすべてにおいて「国語力」はすごく大事だと思うんですね。いろいろな子どもさんにお会いしますが、問題の文章を最後まで読んでいない子どもさんや先生のお話を最後まできちんと聞いていない子どもさんが大変多いように思います。もうそれに尽きるかなと、このごろすごく実感してるんですね。そういうことはやはり日頃、日常の学習環境の中で、先生方が気をつけて、そういう力をつけていただきたいなと、つくづく今、夏休みの終わりに思っています。

（松浦次長） まず「書く力」ということに関してですが、学力調査では、例えば「思ったことを書きましょう」とか「どんなことが書かれているかまとめていきましょう」ということだけではなくて、例えば「キーワードを使ってまとめましょう」とか「何文字以内で書きましょう」、あるいは、「二つの文章を関連付けて書きましょう」とか、そういう条件がつくような問題になっています。普段の授業の中で自分の考えを発表するときに、例えば、大事なことば、キーワードを使って発表するとか、あるいは、友だちの意見と自分の意見を関連づけさせながら発表するとか、そういうような学習を普段からしていないとなかなか力がつかない、そういう、普段の学習のあり方が、こういうところに反映されてくるので、これについては、それぞれの学校で課題意識を持って取り組んでいくべきことじゃないかというふうに思っております。

それから、最後まで見ない、聞かない、というご指摘でしたけど、学校現場でも課

題になっており、原因の一つとして、子供たちがじっくりと活字を読む機会が、最近少しずつなくなってきたんじゃないかなという気がします。特に、スマートフォンやタブレットなどのICT機器の普及によって、自分の知りたいことはすぐに検索して調べることができるけど、ある一つの文章を吟味してじっくり考えながら読むという習慣が、少しずつ生活の中から失われてきており、こういうところにも影響していると思います。

そうした中、学校においては、教科書や文章的な資料を、紙媒体で見て、ときには線を引いたり、友だちと話し合いをしながら、しっかり読み深めていくということができるし、友だちの話を最後まで聞こうとか、そういうことをよく言われていますので、学校の授業こそ、今、そういう社会環境の中で失われているものをしっかりやっていくチャンスであるというふうに私はとらえております。

ですから、学校教育においては、今抱えている社会の問題に対応できるような授業というものをこれから考えていかなければいけないな、ということを水委員さんの言葉を聞いて私は思いましたので、また、これが実践できるようにしていきたいと思っております。

(杉谷教育長) ほかは、いかがでしょうか。

(各教育委員) ありません。

5 その他

(杉谷教育長) それでは、「その他」に入ります。教育委員会の後援・共催事業について、教育政策課 常松課長補佐 に説明をお願いします。

(常松課長補佐) 資料に基づき説明

(杉谷教育長) 只今の報告について、質問等はありませんか。

(各教育委員) ありません。

(杉谷教育長) その他、委員の皆さま、あるいは事務局の方で、何かございますか。

(各教育委員) ありません。

6 次期教育委員会の開催時期

(杉谷教育長) 次期教育委員会の日程ですが、9月23日(水)の、午後2時から、庁議室で開催いたします。

(杉谷教育長) それでは、公開の会議はここまでとします。

3-2 議事

(杉谷教育長) それでは、「議第29号 令和3年度から令和6年度 中学校において使用する教科用図書の採択結果について」を、学校教育課 金築課長 に説明願います。

(金築課長) 資料に基づき説明

(杉谷教育長) 只今の、議第29号について、何かご意見があれば、お願いしたいと思えます。

(金築委員) この教科書は、特別支援を受ける子どもたちも同じものを使用するのですか。

(金築課長) 特別支援で使う教科書としては、この教科書を使うこともできますし、県が指定した教科書の中から選ぶこともできます。県が指定した教科書については、協議会にはかけずに教育委員会において決定し使用することができます。

(内藤委員) 出雲市として、子どもたちにどのように育っていてももらいたいのかというのが一番重要なことであって、それが選ぶ基準に反映されているという解釈でよろしいでしょうか。

(杉谷教育長) 教科書で示される内容は、学習指導要領の各教科等で示されている内容に沿ったものですので、こちらの教科書はあるけど、別の教科書にはないということはないわけですが、扱う内容の分量ですとか、それを扱うに当たり載せている資料であるとか、そういうものが、出雲の子どもにとってどうかという視点はそれぞれの調査をされるときに参考になさっていると思いますし、あと、こと島根県に関して言えば、竹島の学習に関しての資料がどうなのか、もちろん、教科書だけでなく他の附属の資料は、県なども出しておりますけども、教科書としてどうなのか、島根に関わる要素がある教科と、そうではないけれども出雲の子どもの実態に鑑みたときにど

れがふさわしいかというところで、見られてるんじゃないかなと思います。

あくまでも、出雲の子どもたちの課題や、つけるべき力に対しては、前段であった学力調査等に見える課題などもそうですけれども、授業にかかっていると思いますので、いくら教科書がいいものであっても、授業がついていかなければいけないっていうのがありますから、両方リンクするという意味で、今回は扱う教科書がこれでどうか、という調査でございます。

（錦田委員） 採択に当たっては、規約第13条の「研究調査員」の方が「カギ」なんだろうと思ひまして、この方たちの名前や、どの方がどの教科を担当されているかといったことは、公開していらっしゃるのでしょうか。

（金築課長） 研究調査員の氏名や所属等については公開されません。

（錦田委員） 調査に当たって、公平性を保つために非公開であろうかと思いますが、一方では、それが多くの県民や市民からしてみると、情報公開上の視点から疑義を生ずる部分でもあるのではないかと思うんですね。ですから、このことに限らず制度全体について、教育委員会でも議論し、また、県の教育委員会に対してもそういう意見があったということを伝えていただきたいと思ひます。できるだけ透明性を高めた方がよろしいかと思うんですね。何も悪いことをされているわけではありませんので、研究調査員も明らかにされるべきであって、その所属や、どういう人たちがなさっているのか、せめて名前はなくても、人数等そういうものは公開された方が安心ではないかなというふうに思っております。

（杉谷教育長） 制度自体へのご意見と承りましたので、しかるべきルートで、伝えるべき意見を伝えていこうと思ひます。

（杉谷教育長） それでは、今回の採択協議会の調査研究を基にした採択の結果についてご承認いただけますでしょうか。

（各教育委員） 異議なし。

（杉谷教育長） ご異議ありませんので、議第29号を承認します。

閉会

（杉谷教育長） 以上をもちまして、令和2年8月出雲市教育委員会定例会を閉会しま

す。

(15:25) 定例教育委員会閉会